



414
A2621



西換營業規則

此規則ハ一各一戸ニシテ西換ヲ營業トナス者ノ爲設ル者ニレテ專ラ西換ヲ業トスル者ハ勿論他ノ商業ヲ本業トシテ旁ラ西換ヲ営ム者ト雖モ總テ此規則ヲ遵奉スルムヘキニヨリ今其創業ノ順序及營業ノ制限等ヲ規定スルコト左ノ如シ

第一章 創業ノ順序

第一條 此規則ヲ遵奉シテ西換ノ業ヲ営マントスル者ハ何人ヲ論セス(外國人ヲ除クノ外)第一号雜形ニ照準シ創業願唇本紙壹通正寫貳通ヲ製シ本紙正寫ノ別十ク其出願人自ラ記名調印シテコレヲ其管轄地方官廳へ差出スヘシ

大正十一年四月
侯爵郵寄贈

但創業願昏ハ本紙正寫共戸長ノ奥昏鈴印シタルモノタルヘシ

第二條 地方官右願昏ヲ領受スルトキハ正寫壹通ヲ其官廳ニ保存シ本紙壹通正寫壹通ハ漆昏ヲ付シテコレヲ東京大藏省ノ紙幣寮ヘ差出スヘシ紙幣頭コレヲ板業シ不都合ノ蕪アルニアラサレハ大藏卿ニ稟議シテコレヲ準許シ右願昏ヘ指令ノ上其地方官廳ヘ回付スヘシ

第三條 地方官右願昏ヲ領受スルトキハ第二号雖形ニ照準シテ招牌ヲ製シ焼印及番号其他ノ記入ヲナシ其願昏ト共ニ之ヲ出願人ヘ下付スヘシ但地方官ヨリ招牌ヲ下付スルトキハ手数料トシテ金壹圓ヲ其地方官廳ヘ納メシメコレヲ取

纏メテ毎年十一月三十日マテニ租稅寮進上票納スヘシ

第四條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者ハ何人何組合ヲ論セス鎖店又ハ分散等ノ事アルニ際シ其負債ハ都テ無限責任ヲ負擔シ其身代ヲ限リテ悉皆之ヲ償却スルノ責ニ任スヘシ

第二章 組合設置ノ方法

第五條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者ハ其区内町村地勢ノ便宜ニ任レ協議ノ上組合ヲ設ケ拾名乃至三十拾名宛ヲ以テ尙組トナシ其管業ノ事件ニ付テハ經テ其組合中聯合シテ以テ之レニ從事スヘシ而シテ組合設置ノ上ハ其町名又ハ村名等ヲ以テ其名稱ヲ撰定シ一一組合ト稱スヘシ

但一区内ト雖モ地勢懸隔シテ組合ヲ設置スルニ便ナラサル地方ハ本條以下第十五條マテノ規定ヲ遵奉スルニ及ハサルヘシ

第六條 此規則ヲ遵奉シ組合ヲ設ケテ兩換ノ業ヲ営ム者ハ右組合中協議ノ上適當ノ者壹名ヲ撰定シテ取締トナシ之ヲシテ其組合中營業ノ総務ヲ監督スレムヘシ

但取締撰舉ノ方法ハ其組合中投票ノ多數ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第七條 右取締撰定ノ上ハ第三号雜形ニ準シテ其組合中ノ申合規則本紙壹通正寫貳通ヲ製シ本紙正寫ノ別ナク組合中各之ニ記名調印シ之ヲ其管轄地方官廳へ差出スヘシ地方官之ヲ領受スルト

キハ正寫壹通ヲ其官廳ニ保存シ他ノ本紙正寫ノ貳通ハ漆唇ヲ付シテ之ヲ紙幣寮へ差出スヘシ

但右申合規則ノ本紙ハ壹錢ノ印紙ヲ貼用シタルモノタルヘシ

第八條 紙幣頭右申合規則ヲ檢案シ不都合ノ廉アルニ非レハ本紙ハ紙幣寮ニ保存シ其正寫へ與唇鈐印シテコレヲ其地方官廳へ回付スヘシ而シテ地方官ヨリ之ヲ其取締へ下付スヘシ

第九條 右申合規則ニ最初同意連署シタルモノハ勿論何人ヲ論セズ(外國人ヲ除クノ外)新ニ加入シタル者ト雖モ苟モ此申合規則ニ記名調印シタル上ハ即チ其組合中ノ一員ニシテ其營業ノ事件ニ付テハ都テ同等ノ權利ヲ有シ其營業ニ從事スル

ヲ得ヘシ

第十條 右取締タル者ハ常ニ其組合中各此規則ヲ遵守シ且其申合規則ノ箇條ヲ履行スルヤ否ヲ觀察シ其管業上於テ互相ノ便宜ヲ^謀議リ若シ不都合ノ者アルニ於テハ時々之ヲ矯正スルヲ以テ其職掌トナスヘシ

第十一條 右組合中管業ノ事件ニ付官廳ニ關係スル所ノ事務ハ一切取締ニ於テ經理擔任スヘシ

第十二條 右取締撰定ノ後ハ其給料トシテ一ヶ月金五圓ニ起ヘサル員額ヲ組合総員ヨリ出金シ毎月末ニ之ヲ支給スヘシ

但管業ノ事件ニ付其組合中一般ニ關係スル所ノ諸費用ハ現費ヲ以テ組合ノ総員ヨリ爾時賦

当出金スヘシ

第十三條 右取締其職任ニ堪サルカ又ハ疾病事故アリテ之ヲ退任セシメントスルトキハ其組合総員ノ協議ヲ尽シ第六條ノ手續ニ準據シ更ニ新任ヲ撰擧スヘシ但其新任決定ノ上ハ第四号雛形ニ照準シ其届唇ヲ製シ地方官廳ヲ經テ之ヲ紙幣寮ヘ差出スヘシ

第十四條 此規則第五條組合決定ノ後新ニ其組合ニ加入シテ管業セントスル者ハ第五号雛形ニ準シ創業願唇ヲ製シ其加入組合取締ノ奥唇鈐印ヲ受テ都テ第一條ノ手續ヲナシ其地方官廳ヲ經テ之ヲ紙幣寮ヘ差出スヘシ而シテ右願唇ヲ領受スルニ於テハ紙幣頭ハ第二條ノ規定ニ從テ之ヲ處

分スヘシ

第十五條 右創業願書ニ紙幣頭ノ準許ヲ受ケ地方官ヨリ招牌ヲ領受スルニ於テハ出願人ハ其旨ヲ當任ノ取締ヘ照會スヘシ取締ハ其照會ヲ得テ其旨趣ヲ組合総員ニ告知シ而シテ第三章號離形ニ準據シ豫テ管字スル處ノ申合規則ヘ記名調印セシムヘシ

但紙幣寮及ヒ地方官廳ハ差出シタル申合規則ノ本紙正寫ノ或通ヘハ此記名調印ヲ追加セシムルニ及ハサルヘシ

第三章 管業ノ制限

第十六條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者ハ資本金十圓以上ノ員額ヲ有スル者ニ非レハ其管

業ニ從事スルヲ許サス

第十七條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者ハ其準許ヲ得タル日ヨリ十箇年ヲ以テ一期限トス満期ノ際尚此業ヲ取続カントスル者ハ更ニ第一條又ハ第十四條ニ照準シ出願ノ上準許ヲ得テ其業ヲ管ムコトヲ得ヘシ

第十八條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者ハ金銀ヲ貸付ケ諸預リ金ヲ十シ爲換ヲ取組ミ又ハ諸手形並ニ証唇ヲ割引シ又ハ公債証唇及外國貨幣並ニ金銀銅ノ地金ヲ赤買スルヲ得ヘシ

第十九條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者通貨ノ交換ヲナスニ當リ請求人ヨリ要求スル取ノ打歩又ハ手数料ハ其交換金額十分壹(即百圓ヲ付

拾錢ノ割合ヲ超過ス可カラス若此制限ヲ犯シテ
要求スル者アルニ於テハ三圓ヨリ少ナカラス五
拾圓ヨリ多カラサル罰金ヲ納メシムヘシ

第二十條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者ハ
金銀ノ貸付ヲナスニ當リ尋常利息ノ外禮金又ハ
口錢又ハ手数料等ノ名義ヲ以テ一切他ノ金員ヲ
借主ヨリ要求ス可カラス若此規定ヲ犯ス者アル
ニ於テハ其金員ヲ借主ヘ返償セシム更ニ拾圓ヨ
リ少ナカラス百圓ヨリ多カラサル罰金ヲ納メシ
ムヘシ

第二十一條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者
ハ諸預リ金ヲ以テ他^運流用スルニハ其預リ金總
額ノ内少クトモ十分ノ二。五(即ニ割五分)ヲ引残シ

其返金ノ準備トシテ常ニコレヲ積立置クヘシ
但定期預金ハ其定期ヲ過ル可ラス右延期アル
トキハ一旦其決算ヲナシ而シテ後更ニ定期預
ノ手續ヲナスヘシ

第四章 一般條件

第二十二條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者
ハ何人又ハ何組合ヲ論セス地方官其管業ノ正否
ヲ詳悉シ損壞紙幣交換ノ事業ヲ命スルニ適當ナ
リト確認シテ其旨ヲ紙幣頭ヘ照會スルニ於テハ
紙幣頭ハ之ヲ審査シ大藏卿ノ稟議ヲ經損札引換
規則ニ照準シテ其業ニ従事セシムルヲ得ルヘシ
但右交換ニ従事スル者ハ其手数料トシテ其引
換タル金額十分ノ二ノ割合ヲ以テ地方官廳ヲ經

テ紙幣寮ヨリ支給スヘレ因テ此ノ命ヲ奉ル者ハ其交換ノ打歩又ハ手数料ヲ人民ヨリ請求スルヲ許サス

第二十三條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者ハ前條紙幣額ノ命令ナクシテ各相對ヲ以テ損壞紙幣ノ交換ニ從事スル者ハ其交換ノ打歩又ハ手数料ハ前條規定ノ負額(即チ分ノ貳)ニ超過セサル割合ヲ以テ之ヲ人民ヨリ請求スヘレ若此制限ヲ犯シテ要求スル者アルニ於テハ三回ヨリ少ナカラス五回ヨリ多カラサル罰金ヲ納メシムヘレ

第二十四條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者改名又ハ代換リ又ハ轉居等ノ事アルトキハ其旨ヲ地方官廳へ届出テ招牌ノ書換ヲ請フヘレ而シ

テ地方官ハ招牌ノ昏換ヲナシ之ヲ出願人ニ下付シ手数料トシテ更ニ金壹圓ヲ納メシムヘレ

但地方官ハ本條ノ手續ヲ了リタル後其旨ヲ紙幣寮へ報知スヘレ

第二十五條 此規則ヲ遵奉シ兩換ノ業ヲ営ム者水火盜難ニヨリテ其招牌ヲ毀失スルトキハ前條ノ手續ニ準シ更ニ新規招牌ノ下渡レヲ請フヘレ亦其手数料ハ前條規定スル取ノ同額ヲ以テ爾時之ヲ納メシムヘレ

第二十六條 地方官ハ其管内何人又ハ何組合ヲ論セズ此規則ヲ遵奉シ兩換ノ業ヲ営ム者此規則ヲ遵守履行スルヤ否ヲ觀察シ若シ此規則ニ背戻スル者アリト認ルトキハ臨時吏員ヲ派遣シテ營業

實際ノ検査ヲナシ其趣ヲ詳細紙幣頭ニ告知スル
ハ

但營業ノ事件ニ付其實際ニ就テ之ヲ推究セザ
ルヲ得ル者アルニ於テハ紙幣頭ヨリ其地方
官ニ照會レテ之ヲ検査セシムヘシ且ツ紙幣頭
ヨリ臨時其吏員ヲ派遣スルヲモアルヘシ

第二十七條 右ノ報知ヲ得テ紙幣頭其次第ヲ審察
シ此規則ニ背戾スルコト相違ナキニ於テハ之ヲ
大藏卿ニ稟議シ招牌ヲ取上ケ其業ヲ廢止セシム
ヘシ

第二十八條 此規則ヲ遵奉レテ兩換ノ業ヲ営ム者
ハ第六号雛形ニ照準シ其前年十二月マテ營業實
際ノ報告ヲ製シ(組合ヲ設ケタル者ハ各々之ヲ取

締ヘ差出シ取締ニ於テ其組合一同ノ分ヲ取纏メ
毎年一月三十一日マテニ之ヲ地方官廳ヘ差出ス
ヘシ若此日限ヲ過キテ差出サ、ルトキハ一日ニ
付壹圓ノ罰金ヲ納メシムヘシ

但地方官右報告ヲ領受スルトキハ速ニ之ヲ紙
幣頭ニ差出スヘシ

第二十九條 前條定例報告ノ外紙幣頭要用ナリト
思考スルトキハ更ニ臨時報告ヲ差出サシムルコ
トアルヘシ其差出方ハ爾時地方官廳ヲ經テ紙幣頭
ノ命ニタル日ヨリ二十日以内(郵便日教ヲ除ク)ニ
差出スヘシ若此日限ヲ過キテ差出サ、ルトキハ
一日ニ付前條同額ノ罰金ヲ納メシムヘシ

第三十條 此規則ヲ遵奉レテ兩換ノ業ヲ営ム者金

銀ノ交換ヲ請求スル者アルニ際シ其金額身介不
相應ト思考スルトキハ必ス正確ナル者ヲ以テ保
証人トナシ而シテ之ニ從事スヘシ若其金額盜竊
ニ係ルト察スルトキハ巡査此署又ハ區戸長役場
ヘ告知スヘシ

第三十一條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者
金銀交換ノ際ニ於テ贋造貨幣ヲ見出ストキハ明
治九年第五十七号布告贋金銀銅貨紙幣取扱規則
ニ照準レテ之ヲ處分スヘシ

第三十二條 此規則ヲ遵奉レテ兩換ノ業ヲ営ム者
其營業ノ事件ニ付テ差出ス取ノ願届報告其他
一切ノ文書ハ必ス本紙壹通正寫貳通都合三通ヲ
製シ組合ヲ設ケタル者ハ取締ノ與昏鈐印ヲ得其

管轄地方官廳ヘ差出スヘシ而シテ正寫壹通ヲ此
方官廳ニ保存シ本紙正寫ノ貳通ハ添付シテ紙幣
寮ヘ差出スヘシ

但願同等其指令スル者ノ如キハ紙幣寮ヨリ地
方官廳ヲ經テ之ヲ本人ヘ下付スヘシ

第三十三條 此規則ヲ遵奉レテ兩換ノ業ヲ営ム者
其年限中事故アリテ廢業セントスルトキハ願昏
ヲ製レテ組合ヲ設ケタル者ハ取締ノ與昏鈐印ヲ
得前條ノ手續ヲ以テ之ヲ紙幣寮ヘ差出スヘシ而
レテ其承認ヲ得ルニ於テハ兼テ領受シタル招牌
ヲ其地方官廳ヘ還納スヘシ

第三十四條 前條廢業セントスルニ際シ預リ金其
他仕拂ヘキ金額ニシテ全ク其營業ニ係ル負債

アルトキハ少クトモ三十日以前ニ於テ其旨ヲ預
ケ玉又ハ債主へ報知シ其仕掛期日至ラサル者ト
雖モ然テ之ヲ返償スルノ責ニ任スヘシ

第三十五條

此規則ニ於テ明言セル罰金ヲ以テ處

分スヘキ者ハ勿論罰金ノ明言ナキ者ト雖モ苟モ

此規則ニ背戾スル者アルニ於テハ總テ其裁判取

又ハ府縣ノ聽斷主任官ニ於テ之ヲ裁判處分スヘシ

但罰金ノ明文ナキ者ハ爾時其裁判取又ハ府縣

ノ聽斷主任官ニ於テ相当ト思考スル所ノ罰金

三圓ヨリ少ナカラス三拾圓ヨリ多カラサル金

額ヲ納メシムヘシ

第五章 制禁

第三十六條

此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者

ハ諸預リ金ニ對シ振出ス所ノ預リ手形及為換手

形ヲ除クノ外理以第持券人へ仕掛フヘキ約束手

形又ハ証昏其他貨幣同様ニ通用スヘキ諸手形又

ハ切手ノ類ヲ發行シ又ハ預リ金ニ對シハ切手帖

等ヲ製シテ之ヲ預主へ付與シコレヲ振出サシム

ルヲ禁ス若此等ノ要件ヲ犯ス者アルニ於テハ國

法ニ從テコレヲ罰スヘシ

第三十七條

此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者

ハ他人ヲ誘導シ株券ヲ製シ之ヲ發行賣買スルハ

勿論又ハ敷金等ノ名義ヲ以テ金銀ヲ募集スルカ如

キ所業ヲナスヲ許サス若此等ノ件ヲ犯ス者アルニ

於テハ其金員ヲ償却セシメ更ニ五拾圓ヨリ少ナカラ

ス貳百圓ヨリ多カラサル罰金ヲ納メシムヘシ

第三十八條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管マシ
トスル者ハ第一條第二條又ハ第十四條第十五條
ノ手續ヲ經テ紙幣頭ノ準許ヲ得招牌ヲ領受スル
ニ非レハ其業ニ従事スルヲ許サス故ニ若シ此手
続ヲ怠リ招牌ヲ掲ケスレテ營業スル者アルニ於
テハ其業ヲ廢止セシメ更ニ拾圓ヨリ少ナカラス
百圓ヨリ多カラサル罰金ヲ納メシムヘシ
第三十九條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管マン
カ爲メ領受スル所ノ招牌ハ何人ヲ論セス之ヲ賣
買シ又ハ之ヲ貸借スルヲ許サス若シ此規定ヲ犯
ス者アルニ於テハ其招牌ヲ取上ケ賣主又ハ借主
共拾圓ヨリ少ナカラス百圓ヨリ多カラサル罰金
ヲ納メシムヘシ

第一號創業願書雛形

創業願書

私儀明治九年一月一日御制定ノ兩換營業規
則ヲ遵奉シ資本金一千圓ヲ以テ兩換營業仕
度此段奉願候也

明治九年一月一日

一 一 兩管下券一、大區一、小區一、兩一、管北
華士族又ハ平民

何某 印

紙幣頭何某殿

前書之通出願仕度旨申出候間與書鈐印ノ上
開申仕候也

右 戸長

明治十一年一月一日

何某印

第二號招牌雛形



第三号申合規則

一 組合申合規則

此申合規則ハ明治九年一月一日制定發行セ
ラレタル兩換營業規則ヲ遵奉シ當組合ヲ設
ケ營業ノ便利ヲ謀ル為組合總員協議ノ上決

定スル者ニシテ今其條件ヲ分ツコト左ノ如

第一條 當組合ノ名稱ハ一一組合ト稱スヘ

第二條 當組合ニ加入シテ兩換ノ業ヲ營ム

者ハ金銀ヲ貸付ケ諸預リ金ヲナシ又ハ為

換ヲ取組ミ諸手形並ニ諸証書ヲ割引シ又

公債証書及外國貨幣並ニ金銀銅ノ地金ヲ

賣買スルヲ得ヘシ

第三條 此申合規則ニ最初同意連署シタル

者ハ勿論新ニ加入シタル者ト雖モ申合規

則ニ記名調印シタル上ハ即當組合中ノ一

員ニシテ其營業ノ事件ニ付テハ總テ同等

ノ權利ヲ有シ而換營業ニ從事スルヲ得ヘシ

第四條 當組合ハ組合總員ノ内ヨリ取締ニ名ヲ撰定スヘシ其撰挙ノ方法ハ組合總負投票ノ多數ヲ以テ之ヲ定ムヘシ而シテ當任ノ取締其職任ニ堪ヘサルカ又ハ疾病事故アリテ之ヲ退任セシメントスルトキハ組合總員ノ協議ヲ尽シ前同様ノ方法ヲ以テ更ニ新任ヲ撰挙スヘシ

第五條 右取締タル者ハ當組合中各營業規則ヲ遵守シ且此申合規則ノ箇條ヲ履行スルヤ否ヲ觀察シ其營業上互相ノ便宜ヲ謀リ若不都合ノ者アルニ於テハ爾時之ヲ矯

正スルヲ以テ其職掌トナスヘシ

第六條 當組合中營業ノ事件ニ付官廳ニ關係スル所ノ事務ハ一切當任ノ取締ニ於テ董括處分スヘシ

第七條 當組合取締ノ給料ハ一ヶ月金一圓ト定メ組合總負ヨリ出金シ毎月末ニ之ヲ給與スヘシ

但營業ノ事件ニ付其組合中一般ニ關係スル所ノ諸費用ハ現費ヲ以テ組合總負ヨリ爾時賦當出金スヘシ

第八條 當組合ニ新ニ加入スル者アリテ諸般ノ手續ヲナシ紙幣頭ノ準許ヲ得ルニ於テハ其旨ヲ當任ノ取締ニ照會スヘシ而シ

テ取締ハ其旨趣ヲ組合總負ヘ報知シ新加入ノ者ヲシテ此申合規則ニ記名調印セシムハシ

第九條 當組合ニ加入シタル各員ハ通貨ノ交換又ハ損壞紙幣ノ引換ヲナスニ當リテ其打歩又ハ手数料ヲ要スルニ通貨ハ其交換金額千分壹(即百圓ニ付拾錢)損壞紙幣ハ其引換金額千分貳(即百圓ニ付貳拾錢)ノ割合ヲ超過スルヲ得ス

第十條 當組合ニ加入シタル各員ハ金銀ノ貸付ヲナスニ當リ尋常利息ノ外禮金又ハ口錢又ハ手数料等ノ名義ヲ以テ一切他ノ金負ヲ借主ヨリ要求スルヲ得ス

第十一條 當組合ニ加入シタル各員ハ營業規則第六號雛形ニ照準シ其前年十二月マテ營業實際ノ報告ヲ製シ毎年一月一日迄ニ之ヲ當任ノ取締ヘ差出スヘシ而シテ取締ハ當組合一同ノ合ヲ取纏メ毎年一月三十一日マテニ之ヲ地方官廳ヘ差出スヘシ

第十二條 當組合ニ加入シタル各員ハ何人ヲ論セス金銀ノ交換ヲ請求スル者アルニ際シ其金額身分不相應ナリト思考スルトキハ必ズ正確ナル者ヲ保証人トナシ而シテ之ニ從事スヘシ若其金額盜贓ニ係ルト察スルトキハ速ニ巡查吏署又ハ區戸長役場ヘ届出ツヘシ

第十三條 当組合ニ加入シタル各員ハ金銀
交換ノ際ニ於テ贋造貨幣ヲ見出ストキハ
明治九年第五十七号布告贋金銀銅貨紙幣
取扱規則ニ照準シテ之カ處分ヲナシ一切
他ニ流通ス可カラズ

第十四條 当組合ニ加入シタル各員ハ諸預
リ金ニ對シ振出ス所ノ預リ手形及為換手
形ヲ除クノ外望次第持參人一仕拂フヘキ
約束手形又ハ証書其他貨幣同様ニ通用ス
ヘキ諸手形又ハ切手ノ類ヲ發行シ又ハ預
リ金ニ對シ小切手帖等ヲ製シテ之ヲ預々
主ヘ付與シコレヲ振出サシムルヲ得ス

第十五條 当組合ニ加入シタル各員ハ他人
ヲ誘導シ株券ヲ製シ之ヲ發行賣買スルハ
勿論又ハ敷金等ノ名義ヲ以テ金銀ヲ募集
スルカ如キ所業ヲナス可カラズ

第十六條 当組合ニ加入シタル各員領受シ
タル招牌ハ何人ヲ論セス一切之ヲ賣買シ
又ハ貸借スルヲ得ス

第十七條 当組合ニ加入シ兩換ノ業ヲ営ム
者鎖店又ハ分散等ノ事アルニ於テハ其負
債ハ都テ無限ノ責任ヲ負擔シ其身代ヲ限
リテ悉皆之ヲ償却スルノ責ニ任スヘシ
右之條々当組合總員ノ集議ヲ以テ相定候其
証據トシテ私共一同姓名ヲ記シ調印仕候也

一 監督下第一大臣、小臣、組合

明治十一年一月一日

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

一年一月一日加入

一年一月一日加入

一年一月一日加入

右申合規則ハ組合總連印ノ後新加入スル者

ヲシテ記名調印セシムル為豫テ餘白ヲ設ケ置

新加入ノ者記名調印スルトキハ離形ニ示シタ

ル如ク其姓名ノ上加入ノ年月日ヲ記載スヘ

シ

右申合規則ハ組合總員協議ヲ以テ草定シ取締

撰定ノ上左ノ奥唇ヲ加ヘテ之ヲ其地方官廳ハ
差出スヘシ

右ハ当一一組合總員ノ協議ヲ以テ決定シ組

合總員各記名調印シタル申合規則ニ相違無

之候因テ其証據トシテ私茲ニ記名調印仕候

也

一一組合

取締

明治十一年一月一日

何某印

紙幣頭何某殿

右ハ一一組合申合規則ノ正寫ニシテ其本紙

正ニ之ヲ本寮ニ領受シ其事ヲ兼認シタル

ヨリ記名調印ノ上下付スルモノ也

明治1年1月1日

紙幣頭何某印

紙幣
寮印

第4号取締新任届書雛形

取締新任御届書

当11組合取締何某儀1月1日退職仕候ニ
付更ニ組合同ノ協議ヲ以テ何某ヲ取締
撰定仕候此段御届仕候也

11府管下第1大区1小区1村町
組合

明治1年1月1日

連名印

前書之通相違無御坐候也

旧取締

明治1年1月1日

何某印

新取締

何某印

紙幣頭何某殿

但組合連印ノ所ニハ新旧取締両名ヲ除クヘシ
第5号新加入創業願書雛形

創業願書

私儀明治九年一月一日御制定ノ兩換營業規
則ヲ遵奉シ資本金一〇〇圓ヲ以テ一組合ニ
加入致シ兩換營業仕度此段奉願候也

一 縣管下第一大区一小区一町一番地
華士族又ハ平民

明治十年一月一日

何某印

前書出願ノ趣御允許ノ上ハ当組合ニ加入為
仕度巨テ與昏鈴印仕候也

一 組合
取締

明治十年一月一日

何某印

紙幣頭何某殿

前書之通出願仕度旨申出候間其昏鈴印ノ上
開申仕候也

右
戸長

明治十年一月一日

何某印

第六号報告各雜形甲

第一回實際報告各

一 府管下第一大区一小区一町一番地
縣管第一大区一小区一町一番地

華士族又ハ平民

一 資本金一〇〇圓

何某

資産權利ニ属スル分

一金一〇〇圓

金銀有高

一金一〇〇圓

地金(金銀又ハ銅)

一金一〇〇圓

公債証書

一金一〇〇圓

貸付金

一金	一〇〇〇	宝引手形
一金	一〇〇〇	他店為換手形並約未手形
一金	一〇〇〇	荷為換手形
一金	一〇〇〇	他店為換貸
一金	一〇〇〇	質物流込
一金	一〇〇〇	
一金	一〇〇〇	
總計	一〇〇〇	

負債義務ニ属スル分

一金	一〇〇〇	御用預り金
一金	一〇〇〇	定期預り金
一金	一〇〇〇	当座預り金

一金	一〇〇〇	仕拂未済為換手形
一金	一〇〇〇	約定預り並別段預り金
一金	一〇〇〇	他店一為換借
一金	一〇〇〇	諸負債
一金	一〇〇〇	
一金	一〇〇〇	
總計	一〇〇〇	

右ハ明治一年十二月三十一日ニ於ケル負債
並ニ資産共前書ノ通相違無御座候也

明治一年一月一日
右 何 某 平

紙幣頭何某殿

但右雛形中掲クル所ノ資産負債ノ種類ハ其大
略ヲ示ス者ニ付營業ノ實際ニ於テハ其種類ノ
有無ニ隨ヒ之ヲ取捨増減シテ記載スヘシ

乙

平均高報告書

一 一 府 縣 茅一 大區 一 區 一 町 一 番 地

華士族又ハ平民

何 某

一金 | | 口

通貨交換總高

此平均 | | 口

一金 | | 口

損札交換總高

此平均	口	御用預リ金總高
一金 口	此平均 口	貸付金總高
一金 口	此平均 口	定期預金總高
此平均 口	一金 口	当座預金總高
此平均 口	此平均 口	約定預リ金總高
此平均 口	一金 口	別段預リ金總高

一金 1 1 10

此平均 1 1 10

付一振向タル為換總高

一金 1 1 10

此平均 1 1 10

他ヨリ振出タル為換總高

一金 1 1 10

此平均 1 1 10

当地ニテ割引シ当地ニテ仕掛タル割引手形總高

一金 1 1 10

此平均 1 1 10

当地ニテ割引シ他方ニテ仕掛タル割引手形總高

一金 1 1 10

此平均 1 1 10

他方ニテ割引シ当地ニテ仕掛タル割引手形總高

右ハ明治一年一月一日ヨリ十二月三十一日
ニ至ルマデ一ケ年間取扱ヒタル預リ金貸付

金為換其他ノ總高並ニ之ヲ一日ニ平均シタ
ル金額前書之通相違無御座候也

明治一年一月一日 右 何 某 印

紙幣頭何某殿

但右雜形中掲クル所モ亦其實際種類ノ有無ニ
随ヒ取捨増減スヘシ



